

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)5月13日(水)

## 「当たり前」に感謝したい

伏見区・藤澤 晴称(大学生・20)

最近、新型コロナウイルスの影響が大きく、家での生活がほとんどで、「自分もかかってしまうのではないか」と不安を感じながら日々過ごしている。

この不安な生活が続いている中、ふと小さい頃、母が風邪をひいて病院に行ったことを思い出した。あの時、私は幼いなりに不安を感じ、何もできずに祈ることしかできないことに悔しさや葛藤を感じていた。

しまっていることが多くあると思う。本当ならば、感謝をしないといけないことも、それが毎日続くと当たり前へと変わってしまう。今の世のように、新型コロナウイルスの影響で普通にできていたことができなくなったことで、更にはいつもの生活に感謝することができない。家に帰れば食事を用意されていることや、家族がいること、当たり前と感じてしまっていることに、改めて感謝したいと思う。

※無断転載不可